

PAT-NO: JP02000324221A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000324221 A  
TITLE: HARD HOLDER FOR MOBILE PHONE OR THE LIKE  
PUBN-DATE: November 24, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAO, KYOICHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAO KYOICHI	N/A

APPL-NO: JP11170116

APPL-DATE: May 13, 1999

INT-CL (IPC): H04M001/11, H04B007/26 , H04M001/02 , H04M001/21

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To protect operation buttons of a mobile phone or a PHS or the like by putting the mobile phone into the hard holder against an external force, when a user carries the mobile phone or the like in the case of outing or the like with satisfactory attachment/detachment performance between the mobile phone and the hard holder and to provide a charging function to the hard holder so as to prevent charger from being forgotten and left behind.

SOLUTION: An outer stationary member 3 adopting a plate spring structure that is fixed externally is provided to the rear side of a hard holder 2, an internal stationary member 4 adopting a plate spring structure for removably fixing the mobile phone 1 to the hard holder 2 is provided to the

inside of the  
hard holder 2, and a guide 6 for facilitating attachment/detachment  
of the  
mobile phone 1 is provided to an inner face of the hard holder 2.  
The hard  
holder 2 that has a charging function and uses a foldable charging  
plug 7 can  
be used as a charger at any time.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-324221

(P2000-324221A)

(43)公開日 平成12年11月24日(2000.11.24)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-コ-ト*(参考)
H 0 4 M 1/11		H 0 4 M 1/11	Z 5 K 0 2 3
H 0 4 B 7/26		1/02	C 5 K 0 6 7
H 0 4 M 1/02		1/21	Z
1/21		H 0 4 B 7/26	Y

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平11-170116

(22)出願日 平成11年5月13日(1999.5.13)

(71)出願人 599083536

八尾 教一

北海道北見市無加川町630-17

(72)発明者 八尾 教一

北海道北見市無加川町630-17

Fターム(参考) 5K023 AA07 BB01 BB27 KK00 LL03

MM03 NN07 QQ02 QQ05 RR08

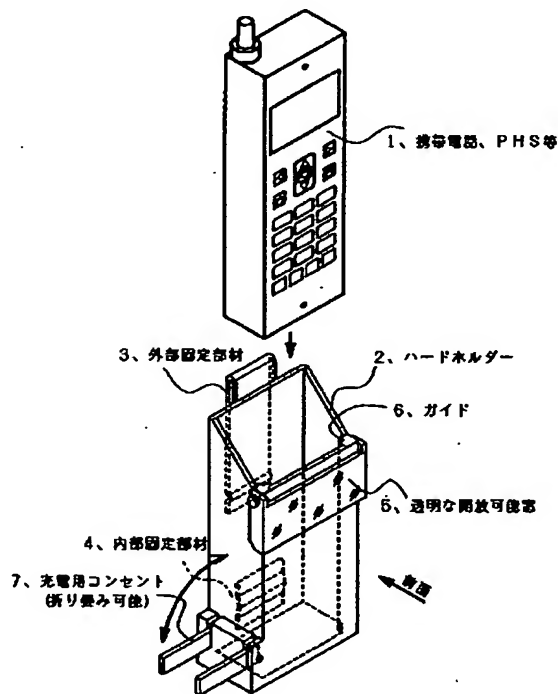
5K067 BB04 KK06 KK17

(54)【発明の名称】 携帯電話等のハードホルダー

(57)【要約】

【課題】 この発明は、携帯電話、PHS等を外出時等に持ち運びする時に、携帯電話をハードホルダーに入れて外力から携帯電話の操作ボタンを保護し、携帯電話とハードホルダーの着脱性を良くするとともに、ハードホルダーに充電機能をもたせせることも可能とし、これにより充電器の置き忘れを防止することを目的としたハードホルダーに関する物である。

【解決手段】 ハードホルダー2の背面には外部に固定する為の板バネ構造となった外部固定部材3を設け、ハードホルダー2の内部には携帯電話1をハードホルダー2に着脱自在に固定するための板バネ構造となった内部固定部材4を設け、ハードホルダー2の内面には携帯電話1の着脱を容易ならしめるためのガイド6をもうける。ハードホルダー2に充電機能を持たせ、折り畳み可能な充電用コンセント7によりいつでも充電器として使用可能な構造とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】携帯電話、PHSのケースを樹脂、金属、木製等の硬い材質とし、これを外部に固定する為の外部固定部材を設け、

【請求項2】このホルダーの内部に携帯電話を取り出し自在に固定する為のバネ等を設け、取り出しを容易にするためのガイドを設け、

【請求項3】このホルダーを充電器としての機能を持たすことも可能なことを特徴とする携帯電話、PHS等のホルダー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、携帯電話、PHS等を外出時等に持ち運びする時に、携帯電話をハードホルダーに入れて外力から携帯電話の操作ボタンを保護し、携帯電話とハードホルダーの着脱性を良くするとともに、ハードホルダーに充電機能をもたせることも可能とし、これにより充電器の置き忘れを防止することを目的としたハードホルダーに関する物である。

## 【0002】

【従来の技術】従来、携帯電話、PHS等をポケットや、ハンドバックに入れて、例えば満員電車などに乗車した場合、人に押されたりしてもみあっているうちに、いつのまにか発信ボタンが押ささり、電話がかかったりすることがまれにあった。しかしながら、従来からあるビニールや、皮製のソフトケースでは、携帯電話のボタンの保護が完全では無い為、この問題は解決されなかった。また、電話をかけようとして、ソフトケースから携帯電話を取り出そうとした場合、いちいちカバーを外す手間がかかっていた。また、出張等の長期外出時などに充電器を忘れてしまい、電池切れのため電話が使えなかったりした。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明はその欠点を除いて、携帯電話のボタンを外力から完全に保護すると共に、ホルダーに外部固定部材を設け、ポケットやハンドバックの中仕切り等に固定出来る構造とし、ホルダーと携帯電話は取り外し可能な内部固定部材により着脱自在に固定し、ホルダーにガイドレール等を設けることによりホルダーからの携帯電話の出し入れを容易ならしめ、さらにホルダーに充電機能を持たせることにより、充電器を常に持ち運ぶ形態として、充電器の置き忘れによる電池切れを防止する事を目的としたものである。

## 【0004】

【課題を解決する為の手段】いまその解決手段を図面に追いながら説明すれば、

(イ) ハードホルダー2の背面には外部に固定する為の板バネ構造となった外部固定部材3を設け、ハードホルダー2の内部には携帯電話1をハードホルダー2に着脱自在に固定するための板バネ構造となった内部固定部

材4を設け、ハードホルダー2の内面には携帯電話1の着脱を容易ならしめるためのガイド6をもうける。

(ウ) ハードホルダー2に充電機能を持たせ、折り畳み可能な充電用コンセント7により、いつでも充電器として使用可能な構造とする。

## 【0005】

【発明の実施の形態】本発明は、以上のような構造であるから、これを使用するときは、ハードホルダー2は外部固定部材3により内ポケットや、バックの中仕切等に固定し、携帯電話1を差し込むことにより外力から携帯電話のボタンを完全に保護する。携帯電話1を使用する時はハードホルダー2から抜き取って使用する。また、ハードホルダー2の前面に、透明な開放可能な窓5を取り付けることにより、受信などの軽度の操作はハードホルダー2に挿入状態でも使用可能な構造とすることもできる。ハードホルダー2に充電機能を持たせた場合、折り畳み可能な充電用コンセント7を取り付けることにより、充電器としての使用も可能とする。

【0006】なお、本発明の実施にあたって次の如きことができる。

(イ) 外部固定部材3はマジックテープやボタン、ホックにする。

(ウ) 内部固定部材4をウレタン、ゴムとする。

(エ) ハードホルダーにシールを貼ったり、カラーリングしてファッション性を良くする。

## 【0007】

【発明の効果】したがって、携帯電話のボタンは外部から保護され、いつのまにか発信したりすることがなくなる。また、携帯電話とハードホルダーの着脱が容易になり、操作性が向上する。また、ハードホルダーに充電機能を持たせた場合には、ホルダーは常に携帯する為、充電器の置き忘れが少なくなり、長期出張時等の電池切れが防止可能となる。また、携帯電話本器にカラーリングやシールを貼って、個性的なファッションを楽しむ傾向があるが、カラーリングやシールを変更したい場合、シールがきれいに剥がれなかったり、カラーリングの2度塗りできれいな色が出なかったりして、携帯電話本器を買いなおすこともあった。本案のように、ホルダーを樹脂製のハードホルダーにする二次効果として、カラーリングや、シールを変更したい場合、最悪でもホルダーを買いなおすだけで良く、従来よりも経済的にカラーリング等をたのしめる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の使用状態を示す斜視図

【図2】本発明の使用状態を示す斜視図

【図3】本発明の使用状態を示す断面図

【図4】図3のZ-Z断面図

## 【符号の説明】

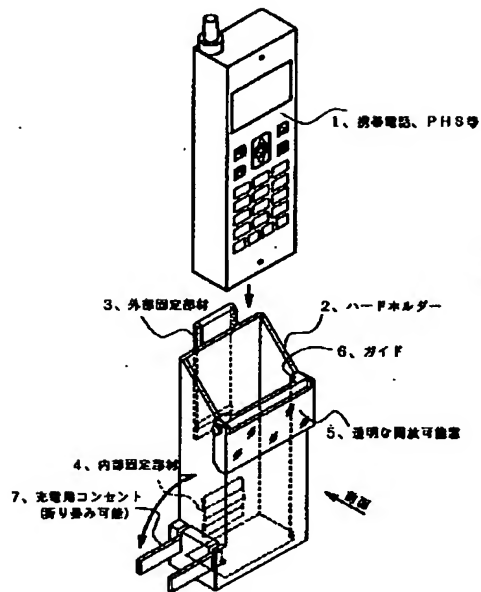
1、携帯電話、PHS等

2、ハードホルダー

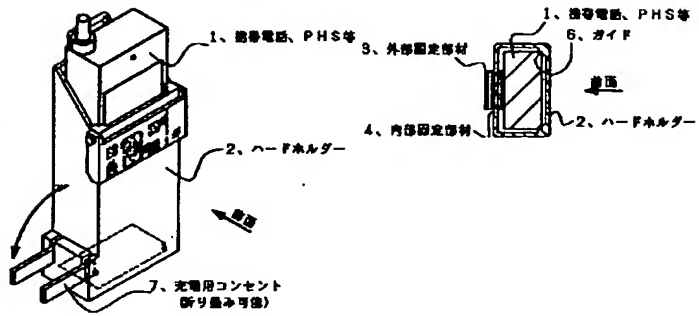
- 3、外部固定部材
- 4、内部固定部材
- 5、透明な開放可能窓

- 6、ガイド
- 7、充電用コンセント（折り畳み可能）

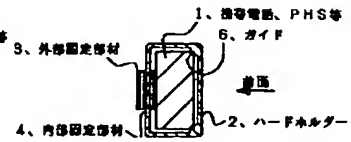
【図 1】



【図 2】



【図 4】



【図 3】

